

平成 20 年 9 月 13 日
パリ産業情報センター
駐在員 社本 朗

一般調査報告書

第 3 回 AVE(万博開催都市・地域連盟)総会がスペイン・サラゴサにて開催

平成 20 年 9 月 12 日、スペイン・サラゴサ市ワールド・トレード・センター・サラゴサで、加盟 12 都市・地域の代表が出席して第 3 回 AVE(Association des Villes et Régions Hôtes d Expositions Internationales(万博開催都市・地域連盟))総会が開催されました。

今回の総会では、第 2 回 AVE 会議報告書の承認、AVE 規約改正の承認、議長引き継ぎ、名誉議長の指名、サラゴサ宣言に関するプレゼンテーション、次回 AVE 総会(2010 年:上海)の開催告示などが行われました。

総会終了後には、AVE メンバーや BIE 加盟国、一般を対象にしたシンポジウムが開催され、約 130 名が参加しました。

<AVE(万博開催都市・地域連盟)とは>

AVE(万博開催都市・地域連盟)は、平成 12 年 10 月、ドイツで開催されたハノーバー万博において、BIE(博覧会国際事務局)、愛知県、ハノーバー市、リスボン市、セベリア市、モントリオール市及びバンクーバー市の代表者により提案され、設立されたものです。

AVE の目的は、万博開催による地域づくりについて意見を交換し、地域における万博の開催成果を遺産として未来に継承していくアイデアを皆で分かちあうというものです。

平成 17 年 9 月に愛知県で「第 2 回連盟総会(万博開催地サミット 2005 in 愛知)」が開催され、神田愛知県知事が連盟議長に就任しました。

平成 20 年 8 月末現在、万博を開催した都市や今後開催する都市を中心に、世界中の 35 都市・地域が加盟しています。

AVE (愛知県庁のホームページ)

<http://www.pref.aichi.jp/kanko/event/index.html>

BIE (博覧会国際事務局)

<http://www.bie-paris.org/main/index.php?p=126&m2=23>

<AVE(万博開催都市・地域連盟)総会>

総会は、加盟都市・地域である 12 都市(愛知県、長久手町(以上、日本)、テジョン、ヨス(以上、韓国)、ハンブルグ・ハノーバー(以上、ドイツ)、セベリア・サラゴサ(以上、スベ

イン)、リエージュ(ベルギー)、リスボン(ポルトガル)、モスクワ(ロシア)、上海(中国))の参加により開催されました。

加盟都市・地域のほかにも、トルコ(イズミール)、ドイツ、イタリア、モナコの各政府代表やバルセロナ(スペイン)、ミラノ(イタリア)、モントリオール、エドモントン(以上、カナダ)、プロヴディフ(ブルガリア)、ポルトープランス(ハイチ)、ガン(ベルギー)などの未加盟都市・地域も多く参加しました。

総会の開会挨拶では、BIE のロセルタレス事務局長が、まず AVE のメンバーの増加と活動の継続を高く評価しました。

また、万博が開催都市・地域の将来を形作る重要な機会であることを確認するとともに、AVE が万博開催後に地域・都市で役に立ったこと、問題となったことを話し合う機会になれば素晴らしいとの考えを述べました。

AVE 議長である神田愛知県知事も、歓迎挨拶で、AVE の目的である、万博を既に開催した都市・地域、将来万博を開催する都市・地域との連携関係を構築し、同じ経験を持つ者同士が情報を交換し、共有することが大事であるとの認識を示しました。

また、万博で得た成果を他の都市・地域、将来の万博開催都市・地域に継承していくことが重要な点だと指摘しました。

愛知万博の成果の例として、万博で活躍した市民ボランティアの活動をきっかけに、環境を大切にしようとする市民活動が活発化したこと、一市町村一国フレンドシップ事業で草の根の国際交流が盛んになったことが強調されました。

その後、議題の承認、AVE メンバーの紹介、前回総会(名古屋)報告書の承認、AVE 規約の改正の承認が滞りなく行われました。

規約の改正内容に基づき、AVE 議長職が神田愛知県知事からファン・アルベルト・ベヨッホ・サラゴサ市長に引き継がれました。

その際、AVE 旗も愛知県知事からサラゴサ市長に手渡されました。



AVE 旗手渡しの様子

神田愛知県知事は、規約に基づき、セビリア市長、ハノーバー市長とともに AVE 名誉議長に就任しました。

引き続き、サラゴサ市長による「サラゴサ宣言」に関するスピーチがありました。

ファン・アルベルト・ベヨッホ・サラゴサ市長は、「水と持続可能な開発(Water and Sustainable Development)」をテーマにしたサラゴサ万博が気候変動の進行のため世

界の問題になりつつあるホットな課題に正面から取り組んだことを高く評価しました。

111カ国・3,000人の専門家が参加した「水の論壇(Water Tribune)」は、320ものワークショップを開催して、「水」の公平かつ持続的活用を実現するための議論が行われ、サラゴサ万博から大きなメッセージを発信できたことから、万博の最も特徴的な取り組みとして強調されました。

また、愛知万博同様に会場内でのボランティアの参加、NGOの活動をPRするパビリオンの設置も大成功した取り組みとして評価しました。

サラゴサ万博を契機に、サラゴサ市内の都市インフラが急速に整い、都市の住民に豊かな生活を営む環境が整ったことも非常に大事な点であると指摘しました。

このような万博での取り組みの多くは愛知万博から始まった財産であるとの認識を示しました。

サラゴサ国際博覧会オフィシャルホームページ

http://www.expozaragoza2008.es/Home/seccion=3&idioma=en_GB.do

(英語、仏語、西語:ただし日本語のパンフレットのダウンロード可)

総会の最後に上海世博会事務協調局 周(Zhou Hanmin)副局長が、サラゴサ万博の成功を高く評価すること、AVE 総会を重要な会議として認識していること、次回総会を2010年10月29日(上海万博閉会日の2日前)に開催する予定であることを述べ、第3回AVE総会は終了しました。



AVE 総会の様子



AVE 総会出席者記念写真